

# 平成 28 年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,232	1,267	35	(注1)
施設整備費補助金	122	159	37	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	48	48	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	17	15	△2	(注3)
自己収入	1,405	1,423	19	
授業料、入学金及び検定料収入	1,373	1,371	△1	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	3	3	(注5)
雑収入	32	48	16	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	34	92	58	(注7)
引当金取崩	-	5	5	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付金回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	5	5	(注9)
出資金	-	-	-	
計	2,858	3,017	159	
支出				
業務費	2,637	2,669	32	
教育研究経費	2,637	2,669	32	(注10)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	139	174	35	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	48	48	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	34	99	64	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	1	1	(注13)
計	2,858	2,993	135	
収入－支出	-	24	24	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の追加交付があったことにより、予算額に比して決算額が35百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が37百万円多額となっております。
- (注3) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で予定していた額より交付額が減額されたことにより、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、徴収対象者数の減による入学金収入の減少等により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、外国人教師宿舍の土地及び建物を売却したため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費補助金の獲得に努め間接経費を受け入れたことにより、予算額に比して決算額が16百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金の獲得に努め当初の見込みより多くの寄附を受け入れたため、予算額に比して決算額が58百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、引当金による賞与及び退職金の支払いに伴い経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の増加により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が35百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が64百万円多額となっております。
- (注13) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、財産処分収入の一部を施設費納付金として大学改革支援・学位授与機構に納付したことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。